



学校だより

都跡の丘に

No.14
R2.3.15
都跡中学校
発行:校長中尾

『出逢い』に導かれ 自分を見つめて...

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとう。

義務教育9年間の課程を終えられたことを心よりお祝いいたします。
あなた方は、この都跡の地に、しっかりと根を張り、なかまや様々な人々から栄養を吸収し、一人ひとりが見事な花を咲かせてくれました。体育大会をはじめ、いろんな場面で、素晴らしい「都跡の底力」を見せてくれました。色団を超えての円陣、今も目に浮かびます。

この書は、相田みつをさんの書です。この書に添えられている一文を読んでください。

出逢い

そのときの出逢いが
その人の人生を
根底から変えることがある

出逢いが
人間を感動させ
感動が人間を動かす
人間を動かすものは
むずかしい理論や
理屈じゃない

人間を根底から変えてゆくもの
人間を本当に動かしてゆくもの
それは人と人の出逢い
そのときの出逢い

相田みつを著『生きていてよかった』
夕日社刊
相田みつを美術館蔵
<http://www.mitsuono.co.jp>

都跡中学校の一つの時代を刻んでくれた卒業生のみなさん、
これまでの「出逢い」、これからの「出逢い」、その「出逢い」の一つひとつが、あなたを導く。
「出逢い」に導かれる中で、自分を見つめ、あなたが信じる「夢」に身を置き、根を深く張り、葉を大きく広げ、あきらめずに、ただ、ただ、ひたむきに、学び続けてください。

苦しい時も、つらい時も青空を見上げる「勇氣」を持てば、必ずと道は開ける。必ず、花は咲く。
先行きの見えない現代において、この都跡の地で学んだことを「生き抜く知恵」とし、この地で育まれたことを誇りに思い、自分を信じ、なかまを信じ、感謝の想いを胸に、最後までやり抜く『都跡魂』を忘れずにいてください。

新しい風に吹かれ、都跡の守り神「朱雀」のように大空へ、そして広い世界へと旅立ち、再び花を咲かしてくれることを願ってやみません。あなたがたなら、できる。

心より、健闘を祈っています。

あなた方の後輩たちが、様々な制約のある中、この日のために自分たちのできることを、頑張ってくれました。そんな後輩たちが、あなた方の背中を追いつつ、都跡の伝統を引継ぎ、新しい時代を刻んでいってくれます。あなた方に、出逢えて、本当に、よかった.....

(3/15卒業式『式辞』より)

在校生 送辞

木も花もつぼみを膨らませ、春の訪れを感じる季節となりました。本日都跡中学校を卒業される卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。在校生一同、こころよりお祝い申し上げます。

先輩方が都跡中学校に入学されてから、もう三年の月日が経とうとしています。今、どのように三年間を振り返っていらっしゃいますか。部活動や勉強、修学旅行や学校行事など、都跡中学校での思い出が走馬灯のように駆け巡っているのではないかと思います。私達在校生にとっても、先輩方と一緒に過ごした時間はかけがえのないものです。

初めて私達が校門をくぐった時、先輩方は笑顔で優しく声をかけてくださいました。そのときふっと緊張が緩み、穏やかな気持ちで入学式に臨めたことを今でも覚えています。これが先輩方に憧れを抱く第一歩でした。

もっとも心に残る行事といえばやはり、全校生徒が心ひとつに盛り上がった体育大会です。今年度のスローガンは「勝気」「本気」「無邪気」。激しい雨の中で行われた三年生の「ソーラン節」はまさに圧巻の演技でした。水しぶきを飛ばしながらびしょぬれの先輩方。雨は強くなっていくばかり。それでも前をじっと見据えて真剣に踊る姿はとてまかつこよくて、在校生一人一人の胸に強く刻まれています。また、今年度から始まった色ごとの応援は団長、副団長を中心として、学年の壁を越えての取組でした。先輩方は応援の歌やコールも考えて下さり、体育大会はいやが上にも盛り上がりました。先輩方と団結して取り組んだ日々を私達在校生は絶対に忘れません。そして、私たちもこんな体育大会をつくりあげるぞと決意を新たにしました。

部活動では何もわからない私たちに、一から丁寧に教えてくださいました。後輩ができた今の私たちは、先輩方のような優しく厳しくかつこいい存在になれているのでしょうか。その大きな背中を思い出し温かい先輩になりたいです。

今日、先輩方は卒業され、私たちは「さよなら」を告げなくてはなりません。寂しい想いが押し寄せてきます。それと同時に「悔しさ」も押し寄せてきます。本来ならば「3年生を送る会」を行い、在校生一同で快く送り出すはずでした。2年生は先輩方への感謝や思い出を込めたビデオメッセージを、1年生は学年全員でメッセージを考え、プラカードにして3年生へエールを送る予定でした。また、生徒会本部からはメッセージに加えて、キロロの「ベストフレンド」を合唱する予定でした。この歌の「あなたの笑顔に何度助けられたらう」という歌詞が大好きです。聴く度に、部活動で失敗したときなど、笑って励ましてくださった先輩方の姿が重なるのです。もちろん、この送辞も映像ではなく先輩方の前で読みたかったです。そして、先輩方からの答辞を受け取りたかったです。その悔しさを胸に抱きつつ、新しい旅立ちをされる先輩方への感謝を込めた「さよなら」を、在校生一同から贈らせていただきます。

四月には、私たちは進級し、新入生を迎えます。先輩方から学んだ都跡中学校の「伝統」を次に繋げていけるように努めてまいります。

これから先輩方が進む道は決して楽な道ではないでしょう。時には迷い、悩み、つまずいたりすることもあるでしょう。そんなときには、本校で仲間と過ごしたかけがえのない日々を思い出し乗り越えていってください。私たちは先輩方と一緒にすばらしい中学校生活を送れたことを誇りに思います。ありがとうございました。

それでは、先輩方の前途が輝かしいものであることを願って送辞とさせていただきます。

(3/15卒業式『送辞』より)

保護者の皆様へ... お子様のご卒業、誠にありがとうございます。

かけがえのないお子様は、とても頼もしく成長され、今日の晴れ姿に、感慨ひとしおのものがあろうかと存じ上げます。今日、この日までに賜りました、深いご理解とあたたかいご支援・ご協力に心から感謝申し上げます。



地域の皆様へ... 日々、本校生徒をあたたく見守り、育ていただいていること誠にありがたく、感謝の念にたえません。これからも都跡の子どもたちのために、何卒、引き続きあたたかいご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

教職員一同



※都跡中学校ホームページも日々更新中！ぜひ、ご覧ください!!こちらからどうぞー